

内務省
文部省
十

乙亥

○航行方不相知
管下人民所有
沿海府縣達義上申

當使管下渡島國津輕郡福山東中町米谷並青持

福壽丸
日本形
本年一月九日同所大泊川間内上磯郡水古

内村向出帆候終今以不相知段今般函館支廳より出

候別紙甲
通
以沿海府縣相達候
右都府より
是迄内

務省へ照會
相達可申
同省於取計未候要自今當使より直ニ

施行可致候条此段併テ上申仕候也

明治九年九月十六日

開拓長官黒田清隆

右大臣岩倉具視殿

開拓省

番外

長三間
一日本形船福壽丸

沿海府縣

右者當使管下渡島國津輕郡福山東中町米谷兼五郎所
有ニテ同人外三人乗組本年一月十九日同郡大泊川瀬
内ヨリ上磯郡木古内村へ向ケ出帆ノ儘今以行方不相
知段届出候ニ付自然右船漂着候歟又ハ所在及見聞候
ハ、速ニ當使へ可届出此旨相達候事

明治九年九月十八日

開拓長官黒田清隆

乙亥八月廿五日

本年八月二日付以御達相成候當使報告書編
輯例則案別冊一通取調致進達候也

明治九年九月二十日

南拓長官黑岡清隆

右大臣岩倉具視殿